

平成26年度当初予算について

-----▶ 平成26年3月

I. 予算編成について***

平成26年度の予算編成は、第10次三朝町総合計画に基づき、「開湯850年を迎える三朝温泉の再生と、防災基盤の整備、子育てから就学支援の充実、三朝型農業生産基盤の確立、さらには高齢者福祉対策の充実」を図り、“大丈夫なまちづくり”のための施策に取り組みました。

そのうち子育て支援では、保育料軽減措置や小中学校への通学費助成、三代同居世帯への支援、高校生等への医療費助成など、子育て環境の充実を図ることとしています。

開湯850年を迎える三朝温泉は、さまざまな記念事業を昨年より行っておりますが、今年度は温泉街駐車場や観光案内塔、町道整備など、観光客の皆さんが安心して三朝温泉に訪れていただけるための環境整備を行います。

また、防災行政無線のデジタル化整備事業やトレーニングセンター、スポーツセンターなどの耐震改修事業など大型事業を計画しておりますが、国の景気回復に向けた経済施策の活用や雇用対策を積極的に取り入れ、健全な財政運営に努めていきたいと思っております。

II. 予算の規模及び主な事業***

平成26年度当初予算の総額は 5,408,941 千円です。

(前年度に比べ 1,098,941 千円 25.5%の増)

主な事業と取組みの概要 ☆

1. はたらく・・・皆が“誇りをもって活躍できる”町

◎観光と農林業の連携を推進することで雇用対策の充実を図ります ★

昨年から三朝温泉の拠点施設の核として整備している「三朝温泉観光拠点施設整備事業」に 12,782 千円、三朝温泉開湯850年を迎える記念事業に 23,000 千円、温泉街の周遊拠点の整備事業 69,481 千円、観光誘導塔・案内広告塔設置事業 24,319 千円、観光客の誘致活動を国内外で展開するため、三朝温泉おかみキャラバン支援事業 535 千円、観光客誘致対策推進費 903 千円、国内交流都市観光客誘

致対策事業に 123 千円、観光関連産業の振興を図るために観光振興地域交付金 2,739 千円、地域おこし協力隊活動費（観光振興対策）3,992 千円などとしています。

農林業では、良質米として知られる三朝米ですが、そのうち「きぬむすめ」が日本穀物検定協会により3年連続「特 A（最高ランク）」に評価されており、コシヒカリと合わせて三朝米のブランド化や水田の地力向上のための支援に 8,484 千円などとしています。また、本町の特産品である梨の生産振興では、鳥取二十世紀梨適熟出荷体制整備事業補助金 1,369 千円、鳥取梨生産振興事業補助金 584 千円、果樹共済掛金助成補助金 218 千円などにより栽培農家の負担軽減を図ります。また、イノシシやカラス、鹿などの被害対策とする鳥獣被害対策事業 12,368 千円、森林環境の保全のためのナラ枯れ被害対策 2,100 千円、緑の産業再生プロジェクト 13,500 千円では、間伐や森林の境界明確化を行い、森林資源を活用した林業・木材産業の再生を行います。

商工振興及び雇用対策では、三朝町工場設置奨励事業 272 千円、三朝町商工振興事業交付金 2,240 千円、若年層の雇用の拡大と地元への定住を図るため、三朝町新卒者雇用奨励事業 3,360 千円、地域おこし協力隊（商工振興対策）3,929 千円としています。

2. すむ・・皆が“安全で安心して暮らす”町

◎子育てや福祉、教育の充実を図り、安心安全な暮らしを守ります ★

中学生による手作り訪仏事業 2,835 千円、台中市石岡区との中学校相互交流事業 2,117 千円、中学校での英語教育充実のための外国人指導助手の配置に 4,590 千円、東小及び南小学校における複式学級解消のための経費として 10,000 千円、小中学校の特別支援員の配置に 9,241 千円、他に小中学校の運営費として 74,262 千円、新たに補助金額を見直しを行った児童生徒への遠距離通学費補助など小中学校教育振興費として 17,400 千円などとしています。

また、子育て世帯の負担軽減と少子化対策として保育所同時入所の有無に関わらず、第2子半額、第3子以降無料とする保育料の軽減措置を行います。放課後児童対策費（東小・西小・南小）17,667 千円、病後児保育事業 227 千円、乳幼児及び中学3年生へのインフルエンザ接種助成 447 千円、児童手当給付費 99,482 千円、水ぼうそう・おたふく風邪予防接種費助成 280 千円、不妊治療費助成 1,700 千円など、みささこども園内では地域子育て支援センター事業 2,583 千円やファミリーサポートセンター事業 2,329 千円、一時預かり事業 2,775 千円などを行い、子育てしや

すい環境づくりを行います。

障がい者の方が自立した生活を支援する事業費として 191,230 千円、老人福祉対策費 12,876 千円、臨時福祉給付金事業 39,313 千円、身体障がい者の方や小中学生、特定疾病の方、今年度から高校生等を対象とする特別医療給付費 47,251 千円、「100 歳元気なまちづくり」のため、高齢者肺炎球菌ワクチン接種助成 789 千円、高齢者インフルエンザ接種助成 2,730 千円、高齢者交通費助成事業 4,700 千円、がんの早期発見及び治療を目的に、子宮頸がん・乳がん・大腸がん・胃がんについて、特定年齢の方を検診無料とするがん検診事業に 1,246 千円、町民の皆さんに受けていただく各種がん検診事業費として 14,227 千円などにより町民の健康づくりを推進します。

防災対策として、防災行政無線デジタル化整備事業 960,129 千円、災害情報マップ作成 1,942 千円、建築物耐震診断改修費補助金 11,761 千円、トレーニングセンター耐震改修事業 70,688 千円など、また、道路整備や交通網の整備として、町道整備事業 77,749 千円、道路補修として 28,000 千円、道路・橋梁整備事業費 32,488 千円、除雪対策費 10,399 千円、交通安全施設整備費 1,404 千円などに取り組んでいきます。

3. かかわる・・皆が“主役で地域を大切に”町

◎次世代につながる人材育成、地域づくりを推進します



中学生による手作りの訪仏事業 2,835 千円（再掲）、台中市石岡区との中学生相互交流事業 2,117 千円、三朝町と城陽市との交流事業 510 千円と、姉妹都市との友好交流を図ることとしています。

町内6つの地域協議会へ地域活動支援交付金 9,000 千円、自治振興交付金 6,559 千円、公民館などの活動拠点施設管理費 5,074 千円、三朝町キラリと光る町づくり支援交付金 2,000 千円、地域おこし協力隊活動費（観光、商工、農業振興の分野に各1名づつ）11,907 千円、移住定住促進事業 2,000 千円などにより、地域づくり・活動を支援します。

生涯学習の拠点施設の図書館経費 17,353 千円、学校支援推進事業 795 千円、人権教育推進員 1,152 千円、人権・同和対策事業 1,219 千円、男女共同参画事業 178 千円などにより、ひとりひとりを大事にし、一生涯継続して学習することの出来る環境づくりを行います。

また、スポーツ活動の推進として、選手強化や育成を推進するため体育協会への委託金として 2,000 千円、三朝町スポーツ少年団の育成として 638 千円、京都府城

陽市とのスポーツ交流事業 510 千円（再掲）などを計上しています。

4. つながる・・皆が“連携による効率的な”町

◎情報化を積極的に推進し、中部圏域の市町と連携を図ります ★

中部ふるさと広域連合負担金として 154,250 千円、後期高齢者医療給付費負担金として 106,291 千円、成年後見支援事業 442 千円など、中部圏域の市町と連携を持ちながら事業をすすめます。

ふるさと納税を促進し（ふるさと応援寄附金特別経費 6,828 千円）、情報化の推進を図るため e-misasa エリアネットワーク事業 18,562 千円、鳥取情報ハイウェイ管理費 504 千円、行政ネットワーク管理費 5,543 千円、ふるさとレター事業 344 千円、学校OA機器等整備 2,580 千円などにより情報化を積極的に行います。